

JICA横浜 海外移住資料館オンラインセミナー

第六回JICA海外移住「論文」部門最優秀賞受賞者講演

戦前・強制収容期・戦後の日系カナダ人の俳句活動 —短詩型文学共同体の形成と再編—

2026
12/4(金)
19:00~20:30

Zoom Webinar

参加費無料



講師：天野 剛至 氏

愛知大学文学部人文社会学科教授
第6回JICA海外移住「論文」部門最優秀賞受賞者

講演内容

本発表では、戦前・強制収容期・戦後の三つの時期に、日系カナダ人コミュニティで展開された短詩型文芸(俳句・短歌)活動について論じます。

日本人移民は19世紀末からハワイや北米西海岸へと移住し、カナダのブリティッシュコロンビア州(BC州)にも定住するようになりました。BC州各地では、漁業、鉱業、林業・製材業、農業、商業などに従事する日本人移民がコミュニティを形成しました。各地で俳句グループが生まれ、さらに邦字新聞を介して、地域を越えた俳句ネットワークが形成されました。

1941年12月の真珠湾攻撃後、カナダ政府は日系人に対する措置を強化し、BC州沿岸部の日系人を内陸部などへ強制移動させました。財産も接収・売却されるなど、日系人の生活基盤は大きく損なわれました。しかし、移動先の収容所でも俳句愛好家たちは活動を続け、郵便を通じて離れた収容所間を結ぶ俳句交流が行われました。

戦後、日系カナダ人のオンタリオ州やケベック州などカナダ東部への再定住が進むと、再び新たな俳句グループが形成され、女性の参加も広がりました。さらに、1960年代以降には短歌も盛んになりました。

本発表では、各時期の中心人物に焦点を当て、俳句・短歌が日系カナダ人コミュニティの形成・維持・再編にどのような役割を果たしたのかを考察します。

講師略歴

1970年生まれ、茨城県日立市出身。
1980年代後半90年代ははじめにかけてアメリカ合衆国オクラホマ州の大学に留学したのを機に、アジア系アメリカ人の移民史研究に関心を持つ。

現在は愛知大学文学部に勤務。アジア系アメリカ文学と日系カナダ移民の文化史のふたつの分野で研究に取り組んでいる。最近の研究テーマは、日系カナダ人とアイスホッケーの太平洋横断史。大戦時の強制収容をきっかけに、アイスホッケー文化に触れた当時の日系カナダ人の若者たち(現在80歳~90歳台の方々)へのインタビュー調査を進めている。

事前登録はこちらから

右の二次元コードから
ご登録ください。



開催概要



日時

2026年12月4日(金)
19:00~20:30



形式

Zoom Webinar



定員

500名
(事前登録制)



参加費

無料



JICA横浜 海外移住資料館



045-663-3257



jomm02@jadesas.or.jp

参加登録用URL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_eQ_qQJhHSCSm4MpYOE6MMw